



「こんにちは 市長です」

7月15日号

高齢者（65歳以上）のワクチン接種を「7月末までに終える」と菅総理。総務省からも追い打ちをかけられ「頑張ります」と担当が約束した。電話の受け付けではめちゃめちゃ混雑、流行のLINEでの申し込みは高齢者にはほとんど無理。私はアナログ人間だから、自分を標準にして「はがき」による申し込みにした。お医者さんとの調整役（コーディネーター）を職員にやってもらった。申込者は電話を待つだけ、お医者さんは接種者を待つだけ。電話がパンク、LINEが使えないという報道をはた目で見ながら、わがまちは静かに接種が進んだ。狙いは当たった。「太田のやり方は良かったです」と市民からもお医者さんからも評価された。職員は市民一人一人に電話連絡、これは大変だった。県がつくってくれた「東毛ワクチン接種センター」は本当に助かった。

高齢者への通知は6万強、戻った「はがき」は約5万5千通、希望者は約4万8千人。6月30日現在の接種者（医療従事者を含む）は約4万1千人、希望者に対する接種率は85・4%になる。さらに、「はがき」での申し込みは統計を分かりやすくした。電話やLINEなどでは「接種を希望しない」とか「考え中」が何人いるか知ることができないが、太田では6千7百人少々いた。今、電話で不明の人や考え中の人たちに再確認をしている。希望者全員に接種をしていきたい。

基礎疾患のある人はかかりつけ医にもお願いする。保育士さんや学校の先生などのエッセンシャルワーカーが先行して接種している。大手企業は職域接種などで、そして64歳以下の希望者全員に早期の接種を可能にするよう新たに『U(アンダー)64 特別班』が動き出した。コロナ感染ゼロがみんなの願いだ。(6/30記)